

国有林野施業実施計画図作製仕様書

適用範囲

- 1 この仕様書は、次の作業に適用する。
国有林野施業実施計画図 (1:20,000) 作製

使用する規程等

- 1 本作業は、本仕様書に基づき実施するほか、本仕様書に定めのないものについては「国有林野管理経営規程」、「国有林野森林図式及び同適用細則(以下「図式」という)」に基づくものとする。
- 2 前項の規程等によるほか、国有林野施業実施計画図作製要領(別紙)によるものとする。

作業地区及び数量

- 1 作業地区(森林計画区)及び数量(印刷数)は、契約書記載のとおりとする。

印刷規格

- 1 用紙規格 B 1、A 0、A 1
- 2 用紙品種 1) 地図専用紙 70 kg (四六判)
2) ユポ紙 110 ミクロン
- 3 印刷色数 4 色刷 (特色 : 黒色・赤色・青色・黄色)

貸与する資料

- 1 基本図 (1:5,000) アーク GIS データ
- 2 基本図コピー (白焼)
- 3 施業実施計画図作成注記一覧表 (調査簿データ : Excel ファイル)
- 4 修正原稿図 (施業実施計画図に訂正指示)
- 5 凡例原稿
- 6 その他

作製概要

基本図を平面直角座標系の座標値で展開し、国有林区域内の森林区画線、地形(川・等高線)及び道路(林道・作業道・歩道・貸付道路)を製図する。小班の情報は施業実施計画図作成注記一覧表により文字記号及び色彩で表示をする。また、管轄区域界(森林管理署界・担当区界)及び行政区域界等を表示する。これらの事項を「国有林野森林図式」及び作製要領に基づいて表示する。

国有林区域外は国土地理院発行の 1:25,000 地形図を 1:20,000 に拡大をして挿入し、行政界、主な河川・湖沼、その他の必要事項を作成要領により表示する。

監督職員の製図検査完了後に仕様書に定められた用紙に指定(見本図)の色彩で印刷をする。

施工管理

- 1 作業の各工程ごとに、工程管理・精度管理・品質管理を十分に行うものとする。
- 2 貸与した資料は、紛失・汚損等のないよう注意をする

納入期限及び納入場所

- 1 契約書に記載の納入期限とする。
- 2 契約書に記載の納入場所とする。

返納する資料

貸与された全ての資料は、成果品納入時に返納をする。

環境負荷低減への取組

受託者（受注者/請負者）は、事業の実施に当たり、関連する環境関係法令を遵守するとともに、新たな環境負荷を与えることにならないよう、生物多様性や環境負荷低減に配慮した事業実施及び物品調達、機械の適切な整備及び管理並びに使用時における作業安全、事務所や車両・機械などの電気や燃料の不必要な消費を行わない取組の実施、プラスチック等の廃棄物の削減、資源の再利用等に努めるものとする。

その他

この仕様書または作製要領に記載のない事項及び疑義が生じた場合は、発注者と協議のうえ施すものとする。

国有林野施業実施計画図作製要領

施業実施計画図の図割

- 1 図幅の区画(図割)は、森林事務所の管轄区域(担当区)を基準として、国有林とその施設及び連絡道路等を考慮したものとする。
- 2 区画(図割)は前回樹立の施業実施計画図を原則とするが、都合により変更する場合がある。標定替えは変更標定図(貸与資料)による。

国有林の標定

スキヤニングをした基本図の正規化作業を行い、平面直角座標系の座標値を基準として国有林の展開をする。

表示する事項

- 1 基準点：三角点記号と名称及び標高
- 2 森林区画界：森林計画区界、境界、林班界、小班界
- 3 管轄区域界：森林管理署界、担当区界
- 4 行政区画界：県界、郡市界、町村界及び行政名
- 5 官行造林地：官行造林地界
- 6 森林管理局所属道路：林道（自動車道）、車道・作業道、歩道及び林道名
- 7 副記号(所在地記号)：森林管理署、森林事務所、事業所等及びその名称
- 8 小班的情報：小班名、林齢、法令等の指定、機能類型、生産群、施業群、除地の種別
- 9 等高線：計曲線・主曲線、変形地記号(崖・露岩等)、標高数値(計曲線)
- 10 水部：川・湖沼・海及びその名称
- 11 地形図：国有林区域外の民有地
- 12 道路：高速道路、国道、県道、主な市町村道、歩道及び道路名称または道路番号
- 13 鉄道・駅：JR線、民営鉄道及び路線名・駅名
- 14 道路・鉄道の付随構築物：橋・トンネル等
- 15 居住地：市街地・集落記号及び名称
- 16 各建物記号：市町村役場・学校・郵便局・官公庁・神社・寺・その他
- 17 題名、凡例、方位、縮尺、図葉当該森林管理署名及び林班番号
- 18 位置図

表示の方法

施業実施計画図は、国有林の森林区画の形状を正確且つ詳細に表示をする。民有地域については1:25,000地形図を1:20,000に拡大をして表示をする。

- 1 基本図の展開及び製図精度は、位置の誤差は図上0.2mm以内とする。
- 2 境界及び小班界の形状は、直線の連続で表示をして基本図と同等の精度とする。
- 3 境界・林班界・小班界は、基準点記号との重複箇所以外は間断をしてはならない。

- 4 転位：小班界と他の地物(林道等)の位置関係が縮尺等の関係で、真位置に表示が困難な場合は最小限の転位をして表示をすることができる。その場合に相互の位置関係及び形状を損ねないように注意をする。なお、基準点及び境界は転位をしてはならない。
- 5 重複：森林区画界と河川及び行政区画界などが一致する箇所の表示は、各事項の図式による。
 - 1) 境界と行政界：境界に沿わせて行政界を断片的に表示。
 - 2) 林班界と行政界：林班界に沿わせて行政界を断片的に表示。
 - 3) 林班界と川：川で林班界線を兼ねて、林班界記号(●)を表示。
 - 4) 小班界と川：川に沿わせて小班界を表示。
- 6 小班の情報：施業実施計画図作成注記一覧表により、法令等の指定・機能類型・施業群・生産群及び除地の種類を図式に定められた文字記号で記入し、林齢は数字で表示をする。
- 7 機能類型：施業実施計画図作成注記一覧表より各小班の機能を読みとり、図式に定められた色彩で表示をする。
- 8 当該図葉に隣接する林班界の表示は、状況が判断できる程度(2~3 cm)として、当該森林管理署管内は黒色、隣接森林管理署管内は青色で表示をする。
- 9 森林計画区界は記号(●●●)と带状界(青)を表示する。
- 10 森林管理署界は記号(××)と带状界(赤)を表示する。
- 11 担当区界は林班界と一致する箇所では林班界上に、境界と一致する箇所は境界に沿わせて連続的に表示する。
- 12 等高線：国有林区域内は基本図(10m間隔)より編集(20m間隔)をして表示をする。
- 13 民有地域：国土地理院発行の1:25,000地形図を1:20,000に拡大をして表示をする。
- 14 線号・種類及び道路の巾等は、特に指定のあるもの以外は見本図を参考とする。

注記の表示方法

- 1 注記は横書きを原則とするが、周辺の状況を考慮して読みやすい形式で表示をする。
- 2 線状対象物の注記は、その形状に沿って表示をする。また、注記する線状対象物の傾斜が概ね45度未満の場合は横書き、45度以上の場合は縦書きとする。
- 3 広がりのある区域を示す注記は、その中央付近に配置する。
- 4 行政名は、区域の中央付近と行政界に付随した箇所に表示する。
- 5 注記の書体・字大等は、特に指定のあるもの以外は見本図を参考とする。
- 6 国有林に関する注記
 - 1) 基準点名：原則として記号の上方に表示する。また、山岳名と三角点名が異なる場合は双方を記載するが記号に近い場所に三角点名を表示する。
 - 2) 基準点標高数値：原則として記号の右方に表示する。
 - 3) 林班番号：区域の中心付近(小班界に重ねない)。小面積の林班で区域内に表示することが困難な場合は隣接した区域外に表示。
 - 4) 隣接林班番号：当該森林管理署管内の林班番号は黒色、隣接森林管理署管内の林班番号は青色で表示する。

- 5) 川(沢)名：基本図に記入のあるものを表示する。
- 6) 林道名：途中分岐・合流のある場合は、各路線区間が明瞭になる位置に表示をする。
- 7) 森林管理署等：森林管理署等の事業所は、位置を記号で示し名称を赤色で表示する。
- 8) 森林計画区名：隣接森林計画区名を青色で表示する。
- 9) 森林管理署名：隣接森林管理署名を青色で表示する。
- 10) 担当区名：当該及び隣接担当区名を赤色で表示する。

小班情報の表示

- 1 林地
 - ①小班名
 - ②施業群
 - ③「山地災害タイプ」の中の人工林小班及び「自然維持タイプ」「森林空間利用タイプ」の中の人工林小班は小班名にアップバーを表示する
 - ④法令等の指定地記号（複数種の指定がある場合は図式の順序に表示）
 - ⑤林齢
- 2 除地
 - ①小班名
 - ②法令等の指定地記号（複数種の指定がある場合は図式の順序に表示）
 - ③除地種別記号
- 3 表示方法
 - 1) 原則として小班区画内に当森林管理局の規則により表示をする。
 - 2) 小班区画内に表示が困難な場合は、引出し線を用いて該当小班外に当森林管理局の規則により表示をする。
 - 3) 小班区画が煩雑で小班情報が該当小班内または、その付近に表示が困難な場合は、該当林班付近の国有林区域外に林班番号を付して表示をすることができる。
 - 4) 法令等の指定、生産群、施業群は、林班全域が同一の場合には林班番号の右方に該当記号を配置しアンダーラインを付して各小班の表示を省略する。

機能類型の表示

- 1 山地災害タイプ及び自然維持タイプ、森林空間利用タイプ別を記号で表示する。
- 2 表現色と設色

項 目	表現色	カラー番号
山地災害タイプ	木緑（中色）	382
水源かん養タイプ	木緑（淡色）	382
自然維持タイプ	朱（淡色）	54
森林空間利用タイプ	藤黄（淡色）	86
快適環境形成タイプ	洋紅（淡色）	75

※カラー番号は、DIC カラーガイド
第 18 版による

線の区分

線号	線の太さ	線号	線の太さ
1号	0.05mm	9号	0.45mm
2号	0.10mm	10号	0.50mm
3号	0.15mm		
4号	0.20mm		
5号	0.25mm		
6号	0.30mm		
7号	0.35mm		
8号	0.40mm		

標 題

○○森林計画区
第7次国有林野施業実施計画図
○葉の内○

凡 例

- 1 貸与資料に基づき作成し記載する。
- 2 全図葉に記載を原則とするが、それが困難な場合は項目を選択して記載する。または記載を省略する。

位置図

- 1 任意の縮尺で森林計画区全域を表示する。
- 2 表示事項は国有林区域・行政区域界(名)・森林計画区界(名)・担当区界(名)・森林管理署及び森林事務所記号(名)等とする。
- 3 当該施業実施計画図の該当林班に緑彩色を表示する。

縮 尺

- 1 縮尺数値と物差目盛の表示をする。

図見出し

- 1 森林管理署名(固有名)と該当林班番号を図郭線外の対称位置に表示する。
対称位置：図の左上と右下

策定年度

令和5年度末現況 令和6年度策定

森林位置図作製仕様書

適用範囲

- 1 この仕様書は、次の作業に適用する。
森林位置図(1:50,000)作製

使用する規程等

- 1 本作業は、本仕様書に基づき実施するほか、本仕様書に定めのないものについては「国有林野管理経営規程」に基づくものとする。
- 2 前項の規程等によるほか、森林位置図作製要領(別紙)によるものとする。

作業地区及び数量

- 1 作業地区(森林計画区)及び数量(印刷数)は、契約書記載のとおりとする。

印刷規格

- 1 用紙規格 B1、A0、A1
- 2 用紙品種 地図専用紙 70kg (四六判)
- 3 印刷色数 7色刷 (特色：ネズミ色・黒色・赤色・青色・緑色・紫色・橙色)

貸与資料

- 1 原稿図 (現行森林位置図に変更箇所等を指示)
- 2 国有林野施業実施計画図
- 3 施業実施計画書
- 4 その他

作製概要

国土地理院発行の5万分の1地形図を経緯度で展開・集成したものをベースマップ (以下「基図」という) とする。記載事項は管轄区域界、森林区画界、道路(林道・作業道・歩道)及び国有林区域内の保護林、緑の回廊、自然公園、鳥獣保護区特別保護地区、レクリエーションの森等を国有林野施業実施計画図により編集・製図をする。また官行造林地、国有林区域外については定められた事項を資料により編集・製図をする。

監督職員の製図検査完了後に仕様書に定められた用紙に指定の色彩(見本図)で印刷をする。

施工管理

- 1 作業の工程ごとに、工程管理・精度管理・品質管理を十分に行うものとする。
- 2 貸与した資料は、紛失・汚損等のないよう注意をする

納入期限及び納入場所

- 1 契約書に記載の納入期限とする。
- 2 契約書に記載の納入場所とする。

返納する資料

貸与された全ての資料は、成果品納入時に返納をする。

環境負荷低減への取組

受託者（受注者/請負者）は、事業の実施に当たり、関連する環境関係法令を遵守するとともに、新たな環境負荷を与えることにならないよう、生物多様性や環境負荷低減に配慮した事業実施及び物品調達、機械の適切な整備及び管理並びに使用時における作業安全、事務所や車両・機械などの電気や燃料の不必要な消費を行わない取組の実施、プラスチック等の廃棄物の削減、資源の再利用等に努めるものとする。

その他

この仕様書または作製要領に記載のない事項及び疑義が生じた場合は、発注者と協議のうえ実施するものとする。

森林位置図作製要領

地形図の展開

5万分の1地形図をスキヤニングして正規化作業を行い、経緯度で展開したものを基図とする。

地形図の補描と注記の整理

貼り合わせ展開した地形図の接合部分は、地形及び地物の接合に不合理が生じた場合は補正をする。また、その付近の図幅間で重複する注記は整理を行う。

森林位置図の図割

- 1 図幅の区画（図郭線）は、森林計画区区域を基準として、国有林、関連施設及び連絡道路等を考慮したものとする。
- 2 森林計画区区域を正方位(図幅の左右図郭線上方が真北)で真位置に表示することを原則とする。
- 3 上記2の表示が困難な場合は、発注者と協議をして斜方位、分図等の表示とする。

国有林の標定

国有林野施業実施計画図を5万分の1基図に展開をして国有林の標定をする。

記載項目

- 1 基準点：三角点記号と名称及び標高
- 2 国有林区画界：広域流域界・名称、森林計画区界・名称境界、林班界・林班番号
- 3 国有林界・国有林名
- 4 管轄区域界：森林管理署（支署）界・名称、担当区界・名称
- 5 行政区画界：県界、郡市界、町村界及び行政名
- 6 官行造林地：官行造林地界・名称、林班界・林班番号
- 7 森林管理局所属道路：林道、作業道、歩道及び林道名
- 8 副記号(所在地記号)：森林管理局、森林管理署（支署）、森林事務所の記号及び名称
- 9 保安林：文字記号（国有林野森林図式）
- 10 鳥獣保護区特別保護地区
- 11 レクリエーションの森：区域界及び名称
- 12 保護林：区域界及び名称
- 13 緑の回廊：区域界及び名称
- 14 自然公園：自然公園(国立・国定・県立)区域界及び名称
- 15 河川・湖沼・海岸線(海)及び名称
- 16 鉄道：JR線、民営鉄道、駅及び路線名、駅名
- 17 管轄外主要道路：高速自動車道、国道、主要な道路。名称又は道路番号

- 18 字名：主要な箇所
- 19 自然歩道：九州自然歩道
- 20 史跡・名勝等
- 21 市町村役場記号
- 22 警察署、消防署記号
- 23 題名、凡例、方位、縮尺、位置図、地形図索引
- 24 調製年月・調製機関
- 25 地形図複製承認番号

表示の方法

森林位置図は国有林野施業実施計画図等を資料とし、森林区画線は基図(地形図)の地形及び地物を考慮した編集を行い表示する。

- 1 境界及び林班界は国有林野施業実施計画図の形状を原則とする。ただし、森林区画界線が基図の地形又は地物との位置関係が不適當な場合は基図に合わせ編集をする。
- 2 隣接する他の森林管理署管内の境界・林班界を表示する。ただし、当該森林管理署に接する付近のみ表示をする。
- 3 重複：境界及び林班界と基図の河川又は行政区画界等が一致する箇所の表示は、次のとおりとする。
 - 1) 協会・林班海斗行政改：傷を復秒(黒色)した行政会で、協会・林班会を兼ねる。
 - 2) 境界・林班界と川：川に沿わせて境界・林班界を表示する。
- 4 広域流域界と森林計画区界：広域流域界を優先して表示する。
- 5 広域流域界・森林計画区界と森林管理署界が一致する箇所は双方を表示する。
- 6 担当区界が森林区画界及び行政界と一致する箇所はそれらに沿わせて担当区界を表示する。
- 7 国有林界は現行森林位置図等を資料として区域界・名称を表示する。
- 8 保安林は国有林野施業実施計画図を資料に林班単位で編集をして文字記号で表示する。
- 9 鳥獣保護区特別保護地区は国有林野施業実施計画図等を資料に編集をして区域の表示をする。
- 10 レクリエーションの森は国有林野施業実施計画図及び施業実施計画書を資料に編集をして区域界・名称を表示する。
- 11 保護林は国有林野施業実施計画図及び施業実施計画書を資料に編集をして区域界・名称を表示する。
- 12 緑の回廊は国有林野施業実施計画図及び施業実施計画書を資料に編集をして区域界・名称を表示する。
- 13 自然公園は国有林区域内は国有林野施業実施計画図を資料とし、国有林区域外については他の資料により編集をして区域界・名称を表示する。
- 14 鉄道及び駅は JR 線、民営鉄道の区分で路線を表示、駅は記号に赤ベタで表す。路線名・駅名を表示する。

- 15 高速自動車道、国道、主要な道路を基図の形状を複描（黒色）して表示する。
- 16 字名は主要なものを黒色で表示する。
- 17 史跡・名勝等

注記の表示方法

- 1 注記は指定のある場合を除き、周辺の状況を考慮して読みやすい形式(横書き・縦書き)で表示をする。
- 2 線状対象物の注記は、その形状に沿って表示をする。また、線状対象物の傾斜が概ね 45 度未満の場合は横書き、45 度以上の場合は縦書きを原則とする。
- 3 広がりのある区域を示す注記は、その中央付近に配置をする。
- 4 注記の書体・字大等は、特に指定のあるもの以外は見本図を参考とする。
- 5 国有林に関する注記
 - 1) 広域流域名：固有名詞のみ表示（緑色）
 - 2) 森林計画区名：固有名詞のみ表示（青色）
 - 3) 隣接森林管理署名：（赤色） 【例】○○森林管理署管内
 - 4) 国有林名（区域を表す）：固有名詞のみ表示（青色）
 - 5) 担当区名（区域を表す）：固有名詞のみ表示（赤色）
 - 6) 林班番号
 - 7) 保安林記号：原則として林班番号の右側に表示（黒色）
 - 8) レクリエーションの森：名称と種別を表示（黒色） 【例】○○風致探勝林
 - 9) 保護林：名称と種別を表示（赤色）、枠囲み（黒色） 【例】○○林木遺伝資源保存林
 - 10) 緑の回廊：（青色） 【例】○○○○緑の回廊
 - 11) 林道名：施業実施計画図に表示のあるもの。
 - 12) 森林管理署：所在地に記号と名称を表示（赤色） 【例】○○森林管理署
 - 13) 森林事務所：所在地に記号と名称を表示（赤色） 【例】○○森林事務所
- 6 その他の注記
 - 1) 史跡・名勝等：記号（赤色）、名称（黒色）、枠囲み（赤色）

線の区分及び設色

1 線の区分

線号	線の太さ	線号	線の太さ
1号	0.05mm	6号	0.30mm
2号	0.10mm	7号	0.35mm
3号	0.15mm	8号	0.40mm
4号	0.20mm	9号	0.45mm
5号	0.25mm	10号	50mm

2 設色

項目	網点等の濃度
国有林	緑色版 10%
官行造林地	赤色版 15%
鳥獣保護区	緑色版 40%
保護林・展示林等	緑色斜線 (1mm)
水面 (河川・湖沼・海)	青色版 10%

標 題

九州森林管理局

〇〇森林計画区森林位置図

凡 例

- 1 凡例原稿により作製し記載をする。

位置図

- 1 九州森林管理局全域を表示する。
- 2 表示事項は海岸線、県界、県庁所在地記号、県名、島名
- 3 当該森林計画区区域を緑色の彩色をする。

縮 尺

- 1 縮尺数値と物差目盛の表示をする。

5 万分の1 地形図索引

- 1 地形図図割線と図幅名
- 2 複製区域を赤枠で表示

調製年月・調製機関

令和7年3月調製 九州森林管理局

複製承認

- 1 国土地理院の複製承認文を表示する。